

近江の古民家の宿サミット

豊かな歴史文化を誇る近江の地には、人々の暮らしや生活文化を育んだ古民家が多く残っています。しかしながら、人口減少、高齢化により住み継がれる方もなくなり、残念ながら年々多くが失われています。一方で、地域の貴重な財産である古民家を改修し、宿泊施設に転用し、農村地域の活性化に貢献している事例も少しずつ増えてきました。

本フォーラムでは、湖東、湖北地域の4つの事例を紹介し、これから取り組みたい方々に参考にして頂き、相互の交流のきっかけにすることを目的に開催します。関心ある皆さまのご来場をお待ちしています。

日時

2021年3月17日(水) 13:00～15:10

会場

多賀さとの宿一圓屋敷(多賀町一円149)

定員

30名 ※ソーシャルディスタンスの確保のため、
定員を超えた場合はお断りさせていただきます。

参加費

500円(当日徴収)

次第

13:00～ 開会

I. 紹介 - 経緯、改修、コンセプト、経営の実態を語る -

13:05～ たらいち邸(高島市)

たらいち邸 共同代表 紀平 健介 氏

13:30～ そよも(米原市)・竹生優庵(長浜市)

株式会社KOMINKA 企画 代表取締役 大森 英昭 氏

14:00～ 多賀さとの宿一圓屋敷(多賀町)

合同会社さとやま多賀 代表 桂 善蔵 氏
CMO 小林 一彦 氏

II. 語り合い、つながり方を考える

14:30～ パネルディスカッション

コーディネーター: 石井 良一 滋賀大学産学公連携推進機構教授

III. 交流会

15:10～ 名刺交換

IV. さとの宿多賀一圓屋敷施設案内(希望者)

ガイド: 濱崎 一志 合同会社さとやま多賀 マネージャー
前滋賀県立大学教授(建築史)

近江の古民家の宿の紹介



たらいち邸

(高島市マキノ町上開田 145-1)

上開田集落で「太良一」と親しまれ、150年の歳月を越えた民家を「たらいち邸」としてリニューアル。一日一組様限定として、さまざまな「田舎体験」を提供。



そよも

(米原市甲津原 457 番地)

屋号を冠した「そよも」という名で築150年の古民家を1棟貸の宿としてリニューアル。和モダンな空間を提供。



竹生優庵

(長浜市下八木町 376)

環濠集落の静かな田園の中にある築130年の古民家を1棟貸の宿としてリニューアル。



多賀さとの宿一圓屋敷

(多賀町一円 149)

国の登録文化財にも指定されている安政4年(1857年)建設の庄屋屋敷を1日1組の宿としてリニューアル。里山を巡る自転車ガイドツアーも提供。

【申込】裏面申込書にご記入の上FAX、もしくはE-mail
でお申し込みください。

【主催】国立大学法人滋賀大学
滋賀の観光イノベーションフォーラム研究会

【共催】合同会社さとやま多賀

FAX 送信票

FAX:0749-27-1431

滋賀大学 産学公連携推進機構 行

滋賀の観光イノベーションフォーラム 近江の古民家の宿サミット

申込書

年 月 日

参加者	所属機関・部署	職名	氏名(ふりがな)
	所属機関・部署	職名	氏名(ふりがな)
住所	〒		
電話番号		E-mail	

■ 申込方法

上記申込書にご記入いただき FAX もしくは、
必要事項を記載しメールでお申し込みください。

■ 問い合わせ・申込先

滋賀大学産学公連携推進機構
TEL : 0749-27-1141 E-mail : icr@shiga-u.ac.jp

■ 会場



多賀さとの宿一圓屋敷

〒522-0317

滋賀県犬上郡多賀町一円149

- ・お車でお越しの場合
彦根ICから約10分／駐車場あり
- ・公共交通機関でお越しの場合
JR琵琶湖線 彦根駅下車、多賀町役場前行きバス
久徳口下車徒歩 5 分
近江鉄道 多賀大社前駅からは徒歩20分

申込時の個人情報は、当フォーラム運営と当機構の産学公連携事業でのお知らせに使用させていただき、それ以外には使用いたしません。